



初代会頭
伊沢栄一

【HEADLINES】

第19回勇気ある経営大賞 優秀賞受賞 仲代金属 (安中茂社長) 積み重ねた技術でオンリーワンを目指す 7

2022年度 東京商工会議所 1号議員選挙のご案内 6

東商イベントガイド 8

新製品等を紹介 BizDane! (ビズダネ) 10・11

ポイント解説! 新エネルギー基本計画と脱炭素経営 12

2022年1月
東商マイページ
スタート!



三村会頭「強い日本経済をつくる」

経済3団体新年祝賀会・共同記者会見

東京・日本商工会議所(三村明夫会頭)、日本経済団体連合会、経済同友会の経済3団体は5日、新年祝賀会を開催した。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で初めて中止となったため、2年ぶりの開催。当日の参加者は感染対策で例年の約1,800人から約240人に絞られた。

祝賀会後は、3団体長による共同記者会見が行われた。三村会頭は経済展望について、「コロナ禍などの脅威に対応するためにも、高い経済成長を実現し、強い日本経済をつくるのが重要」と述べた。

祝賀会に参加した岸田文雄首相は、「コロナ克服のめどをしっかりと付けた上で、日本経済のV字回復を成し遂

げていきたい」と抱負を語った。

三村会頭は祝賀会後、経団連の十倉雅和会長、同友会の櫻田謙悟代表幹事とともに、3団体による共同記者会見に臨んだ。

三村会頭の主な発言については次の通

◇本年の日本経済の見通し

他国に比べ高い成長率となることを期待したい。焦点は内需、とりわけGDPの約6割を占める個人消費の動向が鍵。コロナ禍の外出自粛で消費が減り、貯蓄が大幅に増加したため、この貯蓄をいかに活用できるかがポイントだ。

◇国際情勢の現状認識

米中間の対立が長引く前提で様々な意思決定をしていくことが肝要。日本が高い外交能力を發揮するには、思



岸田首相(左から2人目)を迎える団体長ら。祝賀会は2年ぶりの開催となった

危機意識をどれほど持っているのか、さらには、強い危機意識のもとで将来のために踏み込んだ対策が取れるかも、大きなポイントの1つとみている。



共同記者会見で発
する三村会頭(左)